



発行：事務局 〒162-0066
東京都新宿区市谷台町 14-5 MSビル市ヶ谷台 1F
編集：全難聴事務局
電話：03(3225)5600
FAX：03(3354)0046
URL：<http://www.zennancho.or.jp>
E-Mail：zennancho@zennancho.or.jp

👉 JDF 全国フォーラム開催（12月4日）



毎年、12月の障害者週間に行なわれている JDF フォーラムは、本便り55号でもご紹介されましたが、ここ数年は 2006 年 12 月に国連で採択された「障害者権利条約」の批准に関わるテーマで開催されています。

全難聴から、**高岡理事長、新谷副理事長、佐野事務局長**などが参加し、時には発言者として登壇し、議論を展開してきました。

今年度のフォーラムはエポックメイキングなひとときとなりました。

11月19日衆議院本会議で承認された「障害者の権利に関する条約の締結について承認を求めるの件」が、この日12月4日13時38分に参議院本会議で可決されたのです。

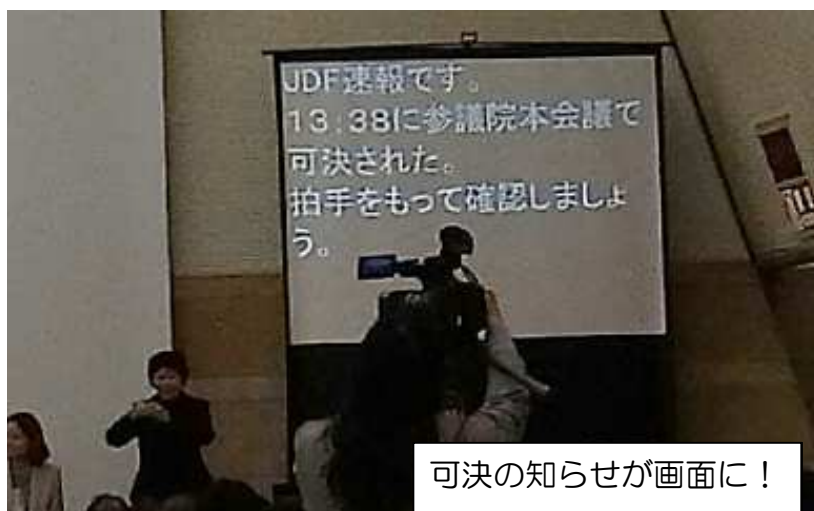
このフォーラム開催の準備を JDF は毎年6ヶ月以上前から始め、開催会場の確保をして、同時に日時も決定しています。

その中で同フォーラムの開催日、開催している時間中に、会場から数百メートルの距離にある国会でこの決議が可決されたのは、偶然とはいえ何かのめぐり合わせという印象を参加者に与えました。

フォーラム中も国会内と常時連絡をとっていた藤井 JDF 幹事会議長より、可決のアナウンスがあり、それが会場内のパソコン要約筆記の全体投影画面に表示されると期せずして静かな拍手が起こりました。可決されて大喜びという印象からはだいぶ遠い静かな拍手でした。

それは、午前から行なわれていた様々な報告や基調講演などで、参加者全員が国会での可決は単なる通過点にすぎないことを理解していたからでした。

これから批准書を作成し、日本は署名158カ国の中から批准138カ国への仲間入りを目指します。



◆ So proud of you, Tommy!! (12月12日)

第63回障害者自立更生等厚生労働大臣表彰式典・拝謁

本年度の厚生労働大臣表彰更生援護功労者として全難聴は高木富生理事を推薦し表彰されました。

同表彰対象者には、障害者自らその障害を克服し、民間人として20年以上にわたり他の障害者の更生援護に従事し、他の障害者の模範とするに足ると認められる方という範囲があります。

高木理事は長年にわたり理事として、情報文化部での活動をはじめ、災害関係等では目覚ましい活躍をされました。また、情報コミュニケーション法への取り組みや選挙への字幕・要約筆記付与の活動でも貢献されました。その中で、名古屋市長顕彰者・援護功労者としても表彰されています。



高岡理事長、高木理事ご夫妻

す。これらを踏まえ、今回全難聴の中央推薦の厚労大臣表彰者としての受賞となりました。

当日は、霞ヶ関厚労省合同庁舎での大臣表彰授賞式につづいて、午後には皇居に移動して、天皇皇后両陛下への拝謁もとり行われました。

要約筆記者は授賞式、昼食会、拝謁に至るまで、厚労省が手配しました。

同日には自立更生者の地方推薦として、福岡市協会から梅田正利理事長、愛知県から青木靖一愛難聴監事が受賞されています。



高木理事ご夫妻

12日に厚生労働省講堂で厚生労働大臣表彰式、天皇皇后両陛下への拝謁に行っていました。

浅学非才の身で福祉活動に勤しむだけの私に、このような栄誉ある受賞を賜うことは、望外の幸福であり、光栄の極みと存じますが、私以上に努力されておられる多くの先輩や後輩たちを差し置くのは恐れ多いばかりです。

この受賞を心の糧とし、更に社会福祉の向上に貢献してまいりたいと思っています。今後ともよろしく願いいたします。

全難聴理事 高木 富生

高木さん（通称 Tommy）おめでとうございます！

高松市手話通訳市外派遣拒否裁判 第3回弁論を傍聴して

香川県中途失聴・難聴者協会会長 湯浅はるみ

12月9日午後2時半から高松地方裁判所にて、第3回目の高松市の手話通訳派遣拒否裁判が行われました。その報告をいたします。

前もって傍聴予約を取ったものの、日にちが迫っても座席番号の案内が来なかったので、「高松市手話通訳派遣を考える会」に問い合わせたところ、今回は自由席ですとのこと。

今回も磁気誘導ループも準備されていたので、そこに座ることができました。だいぶ空席もありましたが、それでも県外からもいろいろな団体の代表が傍聴に来られていました。全日本ろうあ連盟の倉野さん、一般社団法人手話通訳士協会の鈴木さん、一般社団法人全国手話通訳問題研究会の矢口さんなど。地元の香川障害フォーラムの横山さんたちも見えました。

今回は原告の池川さん、被告の高松市両方から書類の提出がありました。池川さん側からは、保護者説明会の状況を再現したDVDによる意見陳述がありました。手話通訳がついている様子、ついていない様子を再現して、説明会で手話通訳がついていなかったら、池川さんが学校側の説明の内容がわからなくて、自分の質問も出せないこと、何もわからないままに説明がおわってしまうことを証明して見せました。数分だけ、声をカットして学校側の口元をクローズアップして3人の裁判官に見せ、口元が見えにくい状態で読話がいかに難しいかを証明しました。

DVD終了後、田門浩弁護士によって法学者の青柳幸一教授の意見書の内容が読み上げられました。今回、問題になっている原告（池川さん）の権利は、

子どもの進路に関わる情報を得る権利で、これはコミュニケーション支援保障請求権というもの。原告の手話通訳派遣要求が、憲法によって保障される権利の具体的な行使であること、市が派遣を拒否するのは憲法違反であること、原告の権利行使を制約するものであることを訴えました。

市からは意見がなかったので、次回の口頭弁論の日（2014年4月21日）を約束して終了になりました。

裁判後、高松センタービルでメディアによる質問会、報告会がありました。池川さんから出席者へお礼を述べ、今回は空席が目立ったがこれからも関心を持ち続けて支援をお願いしますと手話で挨拶がありました。

今回も手話通訳とPC要約筆記もあり情報保障環境はよかったです。法廷内の磁気ループもちゃんと聞こえ、他にTコイルを使用する人もいて確認できたので、安心できました。

最近では、12月4日に障害者権利条約が国会で正式に承認され、年明けにも条約の批准書が国連に提出されるそうです。このことがこれからの裁判の進行にも影響があると思われます。これからも引き続き関心を持って見守っていきたいと思います。



報告会

📌 理事の動き（12/1～12/31）

- 12月4日 JDF 全国フォーラム（高岡、新谷、佐野）
- 12月5日 視聴覚障害者4団体勉強会（高岡、新谷）
- 12月6日 全社協第2回災害時の障害者避難等に関する研究委員会（小川）
- 12月6日 NEC システムテクノロジーとの面談（小川）
- 12月7日 警察庁実証実験（小川）
- 12月9日 厚労省ヒアリング（高岡、新谷）
- 12月9日 CS 障害者放送統一機構理事会（高岡、小川）
- 12月11日 副読本編集会議（湯浅）
- 12月11日 情文センター取材・事務所（高岡）
- 12月12日 厚生労働大臣表彰式典（高木）
- 12月12日 厚生労働大臣表彰式典来賓（高岡）
- 12月12日 副読本編集会議（佐野、湯浅）
- 12月13日 第9回障害者政策委員会（新谷）
- 12月17日 勝又和夫さんを偲ぶ会（新谷）
- 12月18日 中央本部第三次提言ワーキンググループ（高岡）
- 12月20日 MASC 第2回理事会・川井理事代理（小川）
- 12月20日 補聴器協議会（佐野）
- 12月23日 全難聴・全要研定期協議会（高岡、藤谷、佐野）
- 12月24日 総務省字幕CM拡充に関する相談・事務所（高岡、小川）
- 12月25日 JDF 幹事会（新谷）
- 12月26日 厚労省第6回改正障害者雇用促進法に基づく差別禁止・合理的配慮の提供の指針の在り方に関する研究会（高岡）
- 12月27日 特別賛助企業訪問（高岡）

📌 事務局報告

- 12月4日 JDF 全国フォーラム（灘尾ホール）
 - 12月5日 視聴覚障害者4団体勉強会（高田馬場）
 - 12月12日 厚生労働大臣表彰（厚労省、皇居）
 - 12月12日 副読本編集会議（事務所）
 - 12月27日 特別賛助企業訪問
 - 12月27日 機関誌 NO. 162 発送
 - 12月27日 全難聴だより No. 67 発行
 - 12月28日～1月5日 年末年始休業
- 《予定》
- 1月20日 政策委員会ヒアリング
 - 1月23日 聴覚障害者制度改革推進中央本部拡大会議（高岡、川井、佐野）
 - 1月25日～27日 第19回全難聴福祉大会 in 沖縄



来年も、全難聴便りをどうぞよろしく
お願いします。

